

科 目 名	フィールドワーク（人間と文化） 「舞台芸術への招待」		担当教員	古 山 律 子		
			担当形態	単独		
テキスト	随時資料を配布する。	単 位 数 授業形態	2 単位	演習	開講時期	集中
講義概要 ■到達目標 ・舞台芸術の魅力を探り、「舞台芸術とは何か」「芸術創造とはいかなるものか」について考え、述べる ことができる。 ・単に楽しむだけでなく、舞台芸術の魅力を自分の言葉で語ることができるようになる。 ■授業の概要 学内での事前学習を通して、歌舞伎、人形劇、バレエ、ミュージカルの歴史的背景や概要について解 説する。 受講者は事前学習で指示された課題を提出してから、劇場へ足を運び生の演奏や芸術家の表現を鑑賞す る。 単に楽しかった、面白かったで終わらせず、事後には鑑賞に関するレポートを提出する。 レポートの作成方法にも、それぞれの舞台芸術に関する自分なりの理解を込めて工夫することとする。 このサイクルを 歌舞伎、人形劇、バレエ、ミュージカルと繰り返し、最後に自分の考えをまとめ、芸術に関する教養を 高めていく。 ■授業の計画 第1回 舞台芸術とは 第2回 歌舞伎① 事前学習 第3回 歌舞伎② 鑑賞 第4回 歌舞伎③ 事後学習 第5回 人形劇① 事前学習 第6回 人形劇② 鑑賞 第7回 人形劇③ 事後学習 第8回 中間報告会 第9回 バレエ① 事前学習 第10回 バレエ② 鑑賞 第11回 バレエ③ 事後学習 第12回 ミュージカル① 事前学習 第13回 ミュージカル② 鑑賞 第14回 ミュージカル③ 事後学習 第15回 芸術創造とは ■準備学習 ・学内での事前学習にて指示された課題を行うこと。 ・鑑賞後にはレポートを提出すること。 ■評価方法 ・事前学習のレポート ― 30% ・フィールドワークでの取り組み ― 30% ・事後学習のレポート ― 40%						
参 考 文 献	織田紘二監修「観劇にやくだつ舞台芸術『表』 『裏』絵事典―小道具から舞台装置まで」 PHP 2006		特記 事項	舞台鑑賞費用は、3万5千円程度。積立金から拠出予定。 鑑賞の順番は、公演スケジュールにより前後する場合がある。		
卒業・免許状・ 資格との関連	保育士資格選択		幼			
			保	教養科目		